



長野県はかつて「蚕糸王国」と呼ばれ、養蚕・蚕種・製糸のすべてで日本一を誇っていました。

その中心の一つが小諸市です。明治7年、豪商・高橋平四郎が丸万製糸場を創業して以来、4つの蚕種貯蔵会社が風穴を活用し、日本一の蚕種貯蔵量を誇りました。小諸はまさに蚕糸王国を牽引する存在だったのです。

しかし現在、その繁栄を知る人は少なく、貴重な産業遺産も失われつつあります。私たちは、先人が築いた遺産を未来へつなぐため、次のような活動を行っています。

- ・ 歴史の記録と発信：「風穴と糸のまちこもろ物語」を改訂・発行
- ・ 講演会・移動企画展：産業史や地域文化をテーマに開催
- ・ 教育支援：郷土学習の教材提供や体験企画
- ・ 市民参加型の活動：地域の誇りを共有し、交流を促進

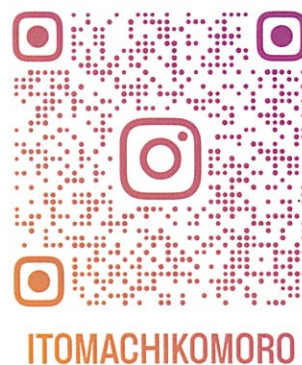
これらの活動は、会員の皆さまのご支援により支えられています。

当法人では正会員・賛助会員を随時募集しております。より多くの方にご協力いただき、活動をさらに広げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 清水寛美

<https://ito-komoro.com/>

ご支援について詳細は、糸のまちホームページでご確認ください。



紡がれる記憶、つながる未来

— 小諸と茅ヶ崎、純水館が結ぶ蚕糸の物語 —

丸万製糸場開業

高橋平四郎（1834～1889）

天保5年（1834）
上田町鎌原の名主・田中良左衛門*1の次男として生まれる（幼名：民次郎）

安政2年（1855・21歳）
小諸町荒町の豪商「萬屋」に養子入り

安政5年（1858・24歳） 高橋平四郎を襲名

明治5年（1872・38歳）
官宮富岡製糸場の「繭買入取次」を拝命

明治6年（1873・39歳） 小諸士族男女46名を富岡製糸場へ派遣

明治7年（1874・40歳） 丸万製糸場（六供）を開業

明治12年（1879・45歳）
友誼社を設立（蚕種・製糸技術の向上を推進）

明治13年（1880・46歳） 同伸社を設立（生糸の直輸出を開始）

明治14年（1881・47歳） 長野県製糸場の経営にあたる



初代純水館社長

小山久左衛門（正友）氏（1862～1918）

文久2年（1862）
小諸町荒町・酢屋商店の長男として生まれる

明治16年（1883・21歳）
京都に留学（～23歳まで）

明治20年（1887・26歳）
小山久左衛門を襲名

明治22年（1889・28歳）
大里村諸地区に第一純水館を創業（釜数100基、職工83人：男8・女75）

明治25年（1892・31歳） 第一純水館を小諸町袋町に移転
※明治25年～大正元年の間に、小諸町内・周辺に12工場を展開

大正7年（1918・56歳） 逝去



小山久左衛門 人脈と役職・功績

人脈・関係

京都遊学時：富岡鉄斎、多村知興（下鴨神社）に学ぶ

近隣の交流：高橋平四郎、澁澤栄一

親戚：北澤金平（叔父）

主な役職・活動

明治22年（1889・28歳） 荒町和合会 会長

明治26年（1893・31歳） 北佐久郡農産物共進会 事務委員長

明治27年（1894・32歳） 小諸町郵便局 局長

明治33年（1900・38歳） 小諸町学務委員
（木村熊二・島崎藤村・正木直太郎・伊藤長七と共に）

明治34年（1901・39歳） 小諸町町長

明治37年（1904・42歳） 大日本山林会 名誉会員

明治38年（1905・43歳） 農商務省嘱託 清国蚕業視察員

明治44年（1911・49歳）
依田社社長（下村亀三郎）と清国へ渡航

明治45年（1912・50歳） 信濃五郡生糸同業組合 組合長

明治45年（1912・50歳） 長野県生糸同業組合 副会長

大正3年（1913・51歳） 小諸商工会議所初代会頭

大正4年（1915・53歳） 藍綬褒章 受章

二代目純水館社長

小山清右衛門氏

在位は約5年間。昭和5年6月から昭和8年5月まで小諸商工会議所の第5代会頭として活躍。

純水館の工場展開

1. 純水館 第一工場（大里村諸→袋町）
明治23年～36年

2. 南御牧純水館（旧浅科村・桑山）
明治25年

3. 純水館 第二工場（六供）
明治26年

4. 純水館 第三工場（町屋敷）
明治27年

5. 純水館 第四工場（六供）
明治28年

6. 北御牧純水館（旧北御牧村・島川原）
明治29年

7. 純水館（赤坂）
明治39年

8. 御代田純水館（御代田村・児玉）
明治40年

9. 丸七純水館（小原）
明治40年

10. 諸純水館（諸）
明治41年

11. 純水館（川辺村・氷）
明治41年

12. 純水館（仲町）
明治45年

三代目純水館社長

小山邦太郎氏（1889～1981）

明治22年（1889）
小諸町荒町・豪商「酢屋商店」の長男として誕生

大正3年（1914・25歳）
工女養成所 所長に就任

大正7年（1918・29歳） 家督を相続

大正9年（1920・31歳） 純水館 社長に就任

昭和42年（1967・77歳） 株式会社純水館を閉鎖（4月）
→その後、純水館企業組合として再開（8月）

昭和56年（1981・92歳）2月 企業組合純水館を閉鎖
3月 逝去

小山邦太郎の交友関係・役歴（年表）

学校・青年期

・小諸小学校時代 恩師伊藤長七

・大正9年
日華蚕糸(株) 監査役に澁澤栄一（片倉・グンゼ・鐘紡社長）

・大正12年
長野県会議員（無所属中立）→加藤高明（首相）と関わり

・大正15年 妹・幸が上田の三吉敬蔵に嫁ぐ（三吉米熊家との縁）

政治家として

・昭和3年～ 衆議院議員（1～5期）／尾崎行雄らと親交

・昭和14年 小諸町長に就任（衆議院議員兼務）

・昭和15年 米内内閣 海軍参与官（町長退任）

・昭和16年 小諸町長に再任（議員兼務）

・昭和17年 衆議院議員（6期目）

・昭和20年 鈴木内閣 陸軍政務次官 → 政界引退を表明

・昭和22年 公職追放令により指定

戦後

・昭和29年 小諸市長（～昭和31年辞任）

・昭和31年 参議院議員に（娘婿・井出一太郎が農林大臣就任）

・昭和35年 自民党総務

・昭和36年 参議院予算委員長

・昭和45年 井出一太郎、佐藤内閣 郵政大臣に就任

・昭和49年 参議院議員を引退（85歳）

・（その後 井出一太郎は三木内閣 官房長官に）

提出した主な法案

・蚕糸業関連

・山林関連

・中小企業関連

小山久左衛門 - 邦太郎の生系評価

明治時代の受賞・表彰

・明治25年 長野共進会 一等賞

・明治26年 シカゴ万国博覧会 名誉賞銅牌
信濃五郡連合共進会 二等賞

・明治30年 日英博覧会 一等賞金牌

・明治33年 パリ世界大博覧会 銀牌・進歩賞

・明治37年 アメリカ万国博覧会 進歩賞銀牌

・明治39年 山梨連合共進会 三等賞銀牌

・明治40年 全国五二会及び商工品評会 進歩賞銀牌

・明治41年 一府十県連合産業組合 一等賞金牌

・明治43年 日英博覧会 一等賞金牌
第十回関西府県連合共進会 有功賞（故小山久左衛門）

大正時代の受賞・献上

・大正2年 産業組合中央会長野支部 優良組合表彰

・大正5年 大日本蚕糸会 第一種功績章（故小山久左衛門）

・大正12年 茅ヶ崎純水館 皇太子御成婚奉祝献上繰糸委託

昭和時代の受賞・献上・視察

・昭和3年 今上陛下（昭和天皇）御大典奉祝献上繰糸委託

・昭和24年 貞明皇太后（大正天后）、純水館丸純工場を視察

・昭和51年 小山邦太郎、日本蚕糸会より恩賜賞を授与

・昭和52年 花田佳司子（教婦）、蚕糸勤功賞受賞（総代）

*1 同伸社設立に関わり、生糸の直輸出に尽力

純水館の工場展開

